

にこにこ情報

竹とんぼ

第225号 令和元年11月1日

幸せ家族のお手伝い

40th Anniversary

にこにこサービス



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <https://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



(写真:緑樹苑内撮影)



飛行日誌



新渡戸稻造の「いにしえの 先行き人の 跡見れば 踏みゆく道は 紅に染む」という和歌は有名である。いつの時代においても、どのような組織においても、諸先輩の苦労というものは想像以上に大きかつたものだと思う。

私が緑樹会で三十三年間勤めてこられたのは、多くの先輩方の努力と熱意があつたからだと思う。まず、そのことに感謝しなければならない。それと同時に、私たちが今の仕事ができるのは私たちだけの力ではなく、先輩方の汗と涙があつて、仕事をさせてもらっているということを強く感じる。

時が経ち時代が変わる中、私たちの生活や職場の様式は変わってきたが、私たちが今あるのは、先輩方が頑張った時代の生き方、考え方によるところは大きいだろう。そのことに感謝しながら、一方では新しい時代を創っていくという思いが必要である。

一見楽しそうに見えて、どんな仕事にも外からは分からぬ苦労がある。それを毎日、何年何十年と続けるには大変な努力と忍耐が必要なのは言うまでもない。楽な仕事など一つもないのだ。

組織の中では、今の立場をこれも自分の運命だと心を定め、今の仕事に懸命に打ち込んでいく、心の持ち方次第で楽しくなり辛くなるものである。

今年も早十一月になり、やがて一年が過ぎようとしている。振り返つてみると、あつという間であった。その日その日を忙しく過ごしてきたが、結局、何をしていたのか。特にこれといったことも成し得ず、目の前の雑事に取り紛れて過ぎてしまった。そんな思いがある。

しかし、それでも、さまざま出来事に出逢い、経験、体験を重ねてきた。それらはみな、自身のものの見方、考え方、あるいは無意識の振舞や言動といったものにも、どこかで影響を与え、心に豊かさや広がりをもたらしているはずだと思う。

光陰矢の如しで、年を重ね、日が経つのが、ほんとに早く感じるこの頃である。(介護老人福祉施設緑樹苑施設長 兼城正彦)

9月13日(金)、特別養護老人ホーム緑樹苑では、「令和元年敬老会」が開催された。今年は、新百歳祝、カジマヤー、トーカチ、生年祝いを迎える方が14名おり、敬老会で紹介を行うと、拍手喝采を受け、長寿をあやかつた。

竹とんぼ

特別養護老人ホーム緑樹苑 敬老会

余興では、職員による『かぎやで風』から始まり、ボランティアで、中の町自治会の日舞サークルの皆さんによる踊りが披露された。利用者の中には踊りの音楽のリズムにのって、口ずさむ方がいて、ボランティアと利用者みなさんが一緒になつて、楽しい時間を過ごすことができた。(松田聰子)



竹とんぼ

ケアハウスていんさぐぬ花 敬老会



9月21日(土)、ケアハウスていんさぐぬ花では、敬老会を開催した。司会者(鈴木征央介護員)より、カジマヤー3名、トーカチ3名、生年祝い1名の利用者が紹介され、会は始まった。

幕開けは仲松節子介護員による『かぎやで風』で始まり、桃原賢治施設長から祝辞が述べられたあと、乾杯の発声で利用者の皆さん健健康と長寿を祝った。余興では、利用者家族の眞榮里砂貴さんによる三線演奏で『祝い節』などが披露されたほか、職員も全員で元踊りを披露し、華をそえた。

利用者を代表して記念品贈呈が行われ、家族と一緒に笑顔で記念撮影をした。最後に全員でカチャヤーシーを踊り、楽しいお祝いのひと時を過ごした。利用者の皆さんご多幸ご長寿をお祈り致します。(小渡修)

竹とんぼ

比屋根自治会「納涼まつり」に参加(ていんさぐぬ花)



(小渡修)



嘉手納高校生徒、施設実習でベッドメイキング(ていんさぐぬ花)



9月9日(月)、沖縄県立嘉手納高校の生徒(6名)がていんさぐぬ花でベッドメイキングの実習を行った。

施設を見学後、実際に利用者の居室で生徒によるベッドメイキングの実習を実施。2名1組で各居室をまわり、照屋介護主任の指示のもと、生徒達は緊張しながらも、ポイントを確認しながら手早く丁寧にベッドメイクした。

居室のベッドサイドには利用者の日常生活用品などもあり、家具や小物入れ等を移動したり、声をかけ合い確認しながら作業を行っていた。

終了後には、利用者から「100点満点!きれいにできたね。ありがとうございます」と生徒達を和ませた。

参加した生徒達は「授業では体験できることができた。もっと介護技術について勉強していきたい」と感想を述べた。(小渡修)



比屋根自治会納涼まつりが8月31日(土)、比屋根あしひなー広場で行われた。ケアハウスていんさぐぬ花から利用者3名と施設長、職員1名が参加した。まつりは、夕暮れ時の少し蒸暑さが残る中、宮里和夫自治会会长の挨拶で始まり、金管バンド演奏や、空手演舞、盆踊り、和太鼓演奏などが披露され、夜店の焼き鳥をほおばりながら楽しんだ。

盆踊りでは、利用者の平良さんと桃原施設長が参加。「肝がなさ節」を踊り、地域の方々と交流を深めた。

参加した利用者からは「楽しかった。地元のエイサーも大好き」「懐かしい思い出も蘇った。また来年も楽しみにしていますよ」との声があった。

利用者の皆さん地域の行事へ参加し、交流を深め、楽しめるようにしていきたいと思います。

竹とんぼ

緑樹苑デイサービスセンター敬老会

9月16日は『敬老の日』。司会の開会の挨拶に始まり、比嘉樹主任が乾杯の挨拶をした。

敬老の日という事で、音楽療法士の照屋先生と「ぶながやぐわあ」の小学生から高校生までの合唱サークルのメンバーがボランティアで訪れ、童謡の『シャボン玉』や『おもちゃのチャチャチャ』など、10曲ほど歌を披露した。利用者の皆さんも、一緒にになって手拍子しながら歌っていた。

その後の余興では、職員による歌謡ショーで2曲ほど歌を披露し、利用者も手拍子をして楽しい時間を過ごした。

会の終わりには、利用者の皆さんに敬老会のプレゼントと緑樹会創立40周年記念のタオルが贈られ、皆さん二つのプレゼントを手に笑顔を見せていた。(源河康弘)



竹とんぼ

球陽高校生徒インターンシップ（介護老人福祉施設 緑樹苑）

10月2日から4日までの三日間、沖縄県立球陽高等学校一年生2名のインターンシップ（就業体験）が、介護老人福祉施設緑樹苑で行われた。

徳元陽菜さんの感想

3日間お世話になった緑樹苑は、私に経験というかけがえのないものを与えてくれました。私は将来医師として僻地医療を支えたいという目標があります。目に見えることだけで判断せず、利用者の方々の心と触れ合う、このことを大切にし、目標に向かって努力していきます。成長した姿でみなさんに恩返しできるように頑張ります。ありがとうございました。

与那嶺悠さんの感想

今回の研修で利用者の方との接し方を学び、利用者の気持ちを理解しようとする姿勢や積極的にコミュニケーションをとることが大切だなと思いました。普段の学校では学べないことが学べて良かったです。3日間ありがとうございました。

最終日には、仲良くなつた利用者から「孫が来たみたいで嬉しかった。楽しかった。いつでも遊びにおいて」「忘年会や新年会しよう」となど喜びの声があり、お互いに充実したインターンシップとなつた。（比嘉なおみ）



職員研修「介護職のための基礎医療」を開催（ケアハウス はいびすかす）



講師の中部徳洲会病院消化器内科・在宅緩和ケア科の仲間直崇医師



9月25日（水）、はいびすかす会議室で講座「介護職のための基礎医療」が開催された。講師は今年4月よりはいびすかすで訪問診療を行っている中部徳洲会病院消化器内科・在宅緩和ケア科の仲間直崇医師。特養やケアハウスでいるさぐの花の職員25人が参加した。

この日のテーマは「バイタルサインと緊急疾患」。バイタル（体温・血圧・脈拍など）を正確に測定し、その意味を理解することで、不要不急の時間外受診による利用者の体力の消耗を防ぐ。逆に些細な変化を見逃さず重篤な状態になる前に受診する、など、日ごろ業務として行っているバイタル測定を今一度、正しく理解して日々のサービス向上を図つて欲しいところ。

「（普段に比べて）おかしいと思うたら何かある！」「バイタルサインはその直前までの数値と比べて判断する」と実際に介護現場で行われている業務を例にとりながら講義は進められた。急患を見る時に医者がまず知りたいのは「日ごろどうだったか？」としながらも「日々丁寧に測定することも繋がる」とのこと。最後に仲間医師が「介護職は夜間など少人数で勤務にあたり不安もあると思うが、正しい知識を身に着けることで適切な対応をすることができるれば、必ずそれが自信になる」と受講者を激励した。

竹とんぼ

ニライ幼稚園の子ども達が来苑（緑樹苑デイサービスセンター）



敬老の日が近づく9月10日（火）、毎年恒例のニライ幼稚園の子ども達47名が今まで緑樹苑デイサービスセンターを訪れた。玄関から子ども達が沢山入って来ると利用者の皆さんは「可愛い〜！」何歳だろうう」と笑顔を見せ、拍手で迎えた。園長先生の挨拶で始まり、全員で歌を3曲披露。また、パーソンクーを使ってエイサーを披露すると、利用者の皆さんから「すごいい！みんな上手だね」と拍手を送った。

その後は、それぞれ利用者と一緒に指遊びをしたり、最後は子ども達から利用者全員に首飾りのプレゼントを首に掛けてもらい、皆さん笑顔を見せていました。

子ども達が帰る際には「また遊びに来てねー」と笑顔で手を振つたり握手をしたり、30分程の交流会であつたが今年も楽しいひと時を過ごしました。（伊藤昌子）



9月誕生会（緑樹苑デイサービスセンター）



9月24（火）、緑樹苑デイサービスセンターでは、9月誕生会が行われた。胡屋老人クラブ寿会の皆さんが余興のボランティアで来苑。民舞を3曲披露し、利用者からの笑いもあり盛り上がりを見せた。

最後に職員による三線演奏で力チャーシーを踊る中、男性利用者と女性利用者がそれぞれ『アンガマ』と『チヨンダラー』に扮し、会場は大笑いで盛り上がった。地域の皆さんの余興ボランティアで楽しく盛り上がり、中には知り合いがいるなど、今回も盛大な誕生会となり盛り上がりを見せた。

講師は今年4月よりはいびすかすで訪問診療を行っている中部徳洲会病院消化器内科・在宅緩和ケア科の仲間直崇医師。特養やケアハウスでいるさぐの花の職員25人が参加した。

この日のテーマは「バイタルサインと緊急疾患」。バイタル（体温・血圧・脈拍など）を正確に測定し、その意味を理解することで、不要不急の時間外受診による利用者の体力の消耗を防ぐ。逆に些細な変化を見逃さず重篤な状態になる前に受診する、など、日ごろ業務として行っているバイタル測定を今一度、正しく理解して日々のサービス向上を図つて欲しいところ。

「（普段に比べて）おかしいと思うたら何かある！」「バイタルサインはその直前までの数値と比べて判断する」と実際に介護現場で行われている業務を例にとりながら講義は進められた。急患を見る時に医者がまず知りたいのは「日ごろどうだったか？」としながらも「日々丁寧に測定することも繋がる」とのこと。最後に仲間医師が「介護職は夜間など少人数で勤務にあたり不安もあると思うが、正しい知識を身に着けることで適切な対応をすることができるれば、必ずそれが自信になる」と受講者を激励した。

11月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかず	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(金)			手工芸	手芸クラブ	
2(土)			ボウリング		園外活動
3(日)			カラオケ		
4(月)		民舞クラブ	映写会		学童休園日
5(火)			脳トレ		
6(水)	避難訓練	ミニシアター	輪投げ		
7(木)		カラオケクラブ	スカッシュボール	ハンドマッサージ	
8(金)			手工芸・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板クラブ	
9(土)			ボウリング		
10(日)			カラオケ		
11(月)		書道クラブ	防災訓練	手作りおやつ会	
12(火)		三板クラブ	脳トレ・三板クラブ	遠遊会	
13(水)		防災訓練	輪投げ		
14(木)	遠遊会	手作りおやつ会	スカッシュボール	防災訓練	
15(金)		手芸クラブ	手工芸	手芸クラブ・誕生会	
16(土)			ボウリング	カフェタイム	園外活動
17(日)			カラオケ		
18(月)		お茶会	ミニドライブ		令和2年度入会申請開始
19(火)		ミニドライブ	脳トレ		
20(水)		ミニシアター	輪投げ		
21(木)	避難訓練	カラオケクラブ・美化活動	誕生会		
22(金)		誕生会	手工芸・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板クラブ	
23(土)			ボウリング・家族会清掃		学童休園日
24(日)			カラオケ		
25(月)		書道クラブ	遠遊会		
26(火)		三板クラブ	脳トレ・三板クラブ		
27(水)		防災訓練	輪投げ	防災訓練	
28(木)		民舞クラブ	散髪		
29(金)	誕生会	遠遊会	手工芸	手芸クラブ	
30(土)			ボウリング		園外活動・読み聞かせ

緑樹会のホームページから
竹とんぼをご覧いただけます。

QRコード

または
インターネット検索で
緑樹会 竹とんぼ

11月11日は「介護の日」

近に
みて
はいか
がで
しょ
うか。
(砂川智規)

11月11日は「介護の日」。一人ひとりの身
て改めて身の引き締まる思いです。

励む彼らのプロを目指す意識の高さに驚か
れます。私自身も介護従事者の一人とし
て改めて見つめなおして
ます。

医療や福祉の分野を志し、将来に向けて
ランティアで手伝ってくれました。

校生徒の施設実習の様子を紹介していま
す。また、先日開催された法人の敬老会で
も、ソーシャルワーカー専門学校の生徒がボ
ランティアで手伝ってくれました。

今月号の記事では、嘉手納高校と球陽高
校生徒の施設実習の様子を紹介していま
す。また、先日開催された法人の敬老会で
も、ソーシャルワーカー専門学校の生徒がボ
ランティアで手伝ってくれました。

編集後記

11月11日は「介護の日」

11月11日は、「介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」とされています。

